

はじめに…。

平成23（2011）年3月11日に起きた東日本大震災と福島第一原発の過酷事故から、今年3月で11年間の歳月が経ちました。

私は、3月25日（金）から27日（日）の2泊3日の日程で、福島県と宮城県の震災遺構や、今も「帰還困難区域」の避難指示が解除されていない福島第1原子力発電所近くの国道6号線沿いの町、そして初めて訪れる「いわき震災伝承みらい館」（NHK紅白歌合戦でも紹介された、「奇跡のピアノ」で知られる豊間中学校跡地近く）などを、自家用車で訪ねてきました（初日は、ほぼ移動のみ）。

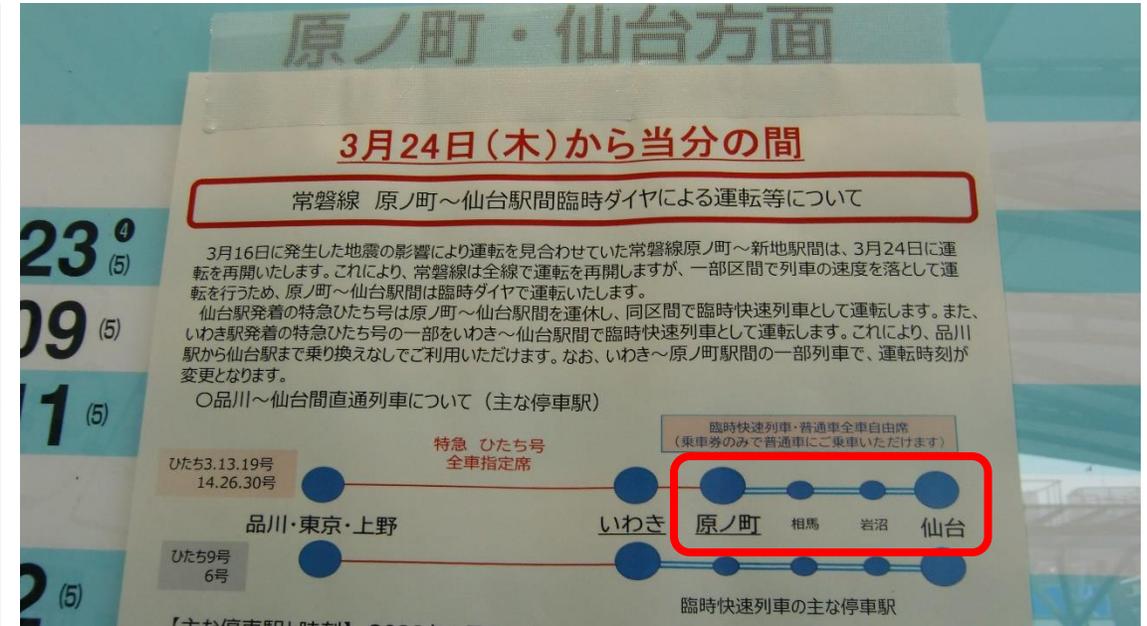
そこで感じた気持ちや考えたことなどを、撮影した画像と一緒に紹介します。

1日目（令和4年3月25日 金曜日）： JRいわき駅（福島県いわき市）

① JRいわき駅の路線図



② 駅の構内に掲示してあった「お知らせ」



3月16日23時36分に発生した地震
（マグニチュード7.3。福島県の最大
震度6）で運転停止→昨日3月24日に
運転が再開。運転を見合わせていたのは、
原ノ町駅から仙台駅の区間。



出発の10日前に
発生した大きな地震。
少しためらったが、
今年も来た。
左の画像は、
<https://www.atpress.ne.jp/news/302435>

1日目（3月25日 金曜日）： 磐城平（いわきたいら）城跡（福島県いわき市）

① 平城本丸跡近くの丹後（たんご）沢公園にあるモニタリングポスト（放射線量を測定）



管理No. 0201016

【丹後沢公園】
～ モニタリング結果 ～

記号	測定箇所	測定値 (μSv/h)
①	敷地中央	0.12
②	敷地四隅	0.11
③	敷地四隅	0.10
④	敷地四隅	0.15
⑤	敷地四隅	0.14
平均		0.12

測定高さ：地上50cm

敷地内の詳細モニタリング結果を踏まえた代表的な測定地点の数値を示したものです。
測定機器：NaIシンチレーション式サーベイメーター（日立アロカTCS-172B）

※ モニタリングの結果、公園敷地内において、国の除染実施の指標である0.23 μSv/hを上回っていることを確認しました。 【問い合わせ先】
いわき市公園緑地課：0246-22-7518

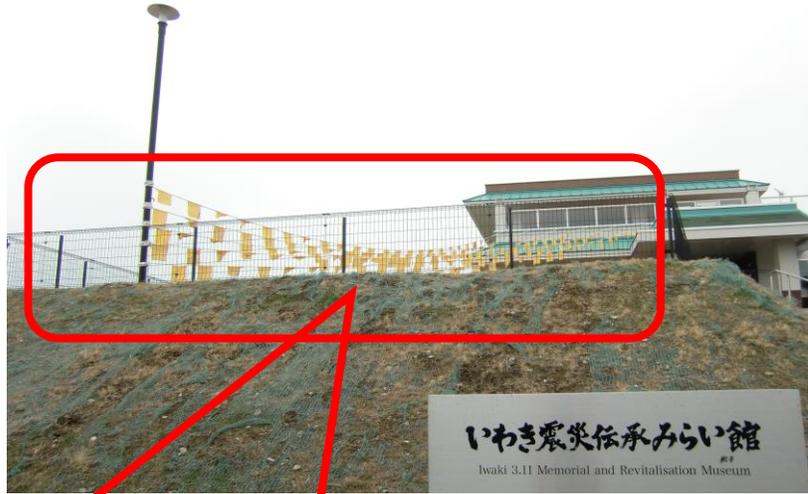
日本国政府による一般の人の被曝線量の限度（除染目標）は、「年間1ミリシーベルト。これを地上1メートルの高さの空間線量に換算すれば、**毎時0.23マイクロシーベルト**」



② 3年前（2019年）に来た時のモニタリングポスト

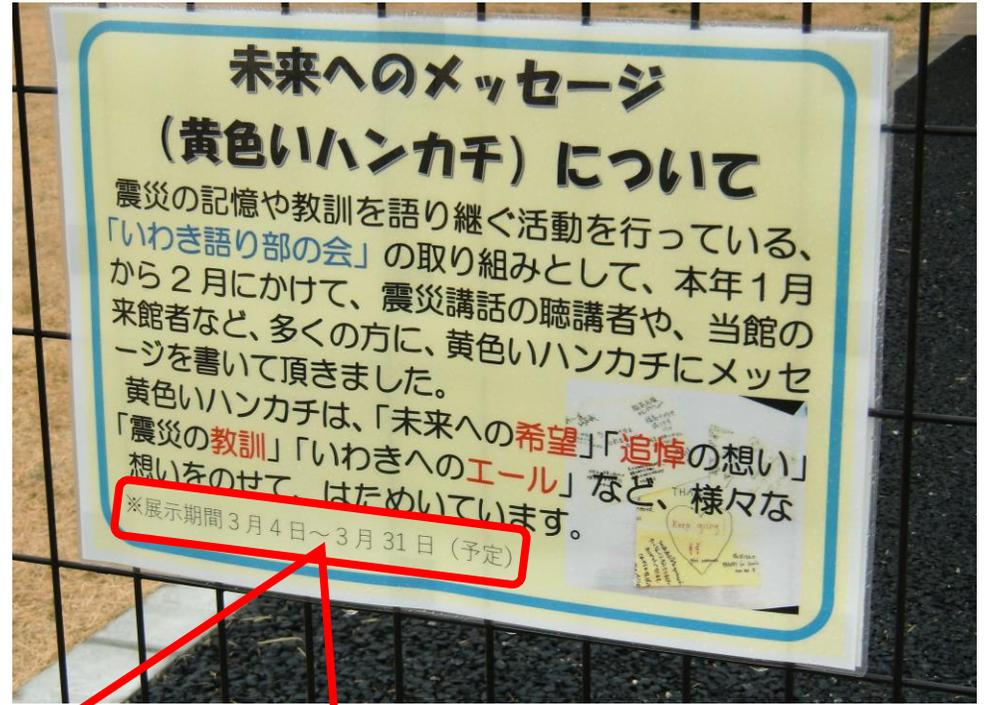
2日目（3月26日 土曜日）： いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市薄磯）①

①



たくさんの「黄色いハンカチ」が、すぐ近くにある海からの風にたなびいていた。

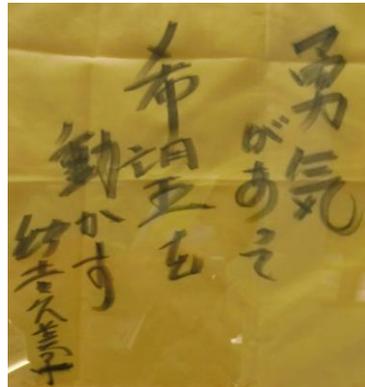
② 「黄色いハンカチ」に込められた想い



この日（3月26日）に来られてよかった。



③ いわき市出身の女優、秋吉久美子さんが書いたメッセージ



2日目（3月26日 土曜日）： いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市薄磯）②

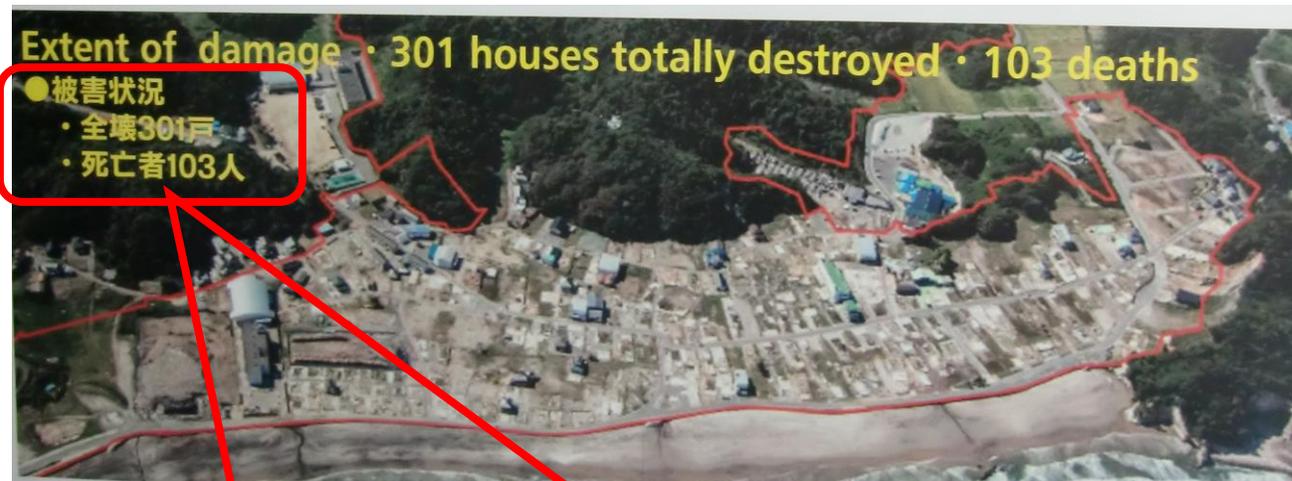
①



みらい館は、津波からの避難所の役割も果たしています。



②



あの日「2011（平成23）年3月11日」と、「全壊301戸 死亡者103人」。数字が0～3までしか…。

2日目 (3月26日 土曜日) : いわき震災伝承みらい館 (福島県いわき市薄磯) ③

「東北地方太平洋沖地震」が起きた14時46分から、41分後に津波が襲ったことが分かる。宮城県石巻市南浜地区では丁度1時間だったから、福島県いわき市には20分近く早く来たことになる。

タイムレコーダー

津波の被害を受けて解体した「旧いわき市立豊間中学校」の、1階職員室入り口に設置

してあった、タイムレコーダー。
津波が到達した時刻で止まっている。



English

①



8mを超える大津波
いわき市を襲った大津波は、平豊間地区で8.57mを記録。その他の地域でも5mや6mを超え、甚大な被害をもたらしました。

8mを超える大津波

いわき市を襲った大津波は、平豊間地区で8.57mを記録。その他の地域でも5mや6mを超え、甚大な被害をもたらしました。

②

クリック：
説明文を
ズームアップ

2日目（3月26日 土曜日）： いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市薄磯）④

いわき市沿岸を襲った大津波

平成23(2011)年3月11日午後2時49分、太平洋沿岸部に大津波

警報3mが発令。大津波警報は6m、10m以上と修正され続けました。

いわき市では、午後3時8分、2.6mの第1波が到達した後、午後4時に

かけて第2波・第3波の大津波が襲いました。津波は深夜まで十数回も

いわき海岸に押し寄せ、いわき市では多くの人命が奪われたのです。

マグニチュード9
（最大震度10）の
巨大地震による大津
波のスケールが、た
とえ「想定外」だっ
たとしても、
**この警報の最初の
「津波は3m」は、
あまりにも楽観的す
ぎたのでは？**
この誤報で逃げ遅れ
た人々も、多かった
のでは…。

2日目（3月26日 土曜日）： いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市薄磯）⑤

①

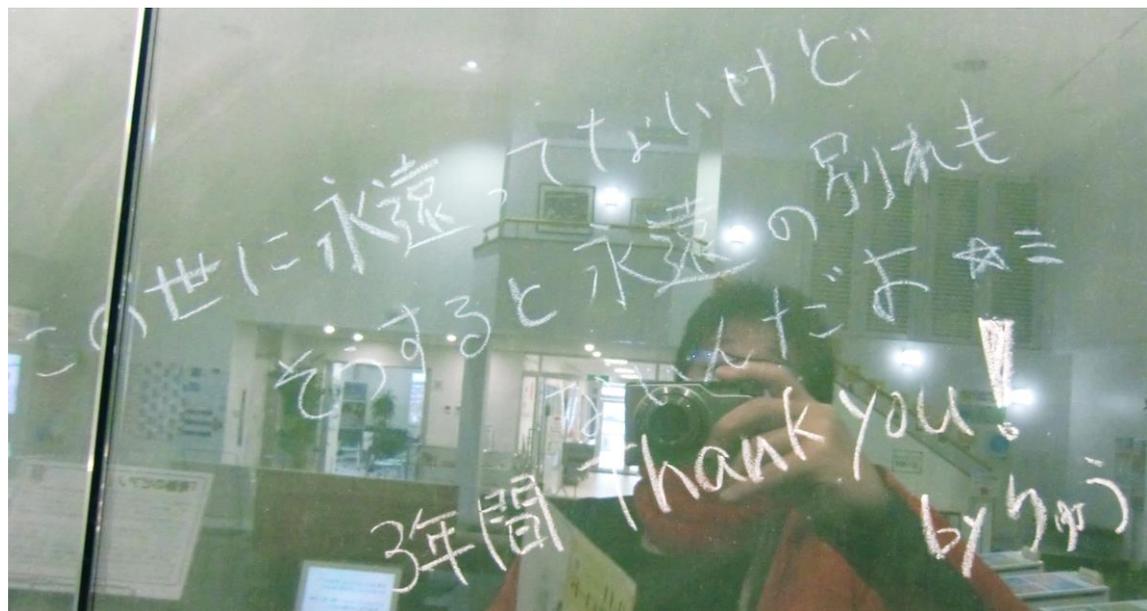


「あの日」の午前中は、中学校の卒業式。3年1組の黒板には日付。そして、日直さんの名前は書かれていない。

クリック：寄せ書きの1つをズームアップ。「りゅう君」の残した言葉は…。

こくばん
黒板
つなみ ひがい う かいたい きゅう しりつ
津波の被害を受けて解体した「旧いわき市立
とよ ま ちゅうがっこう かい ねん くみ せつち
豊間中学校」の、2階の3年1組に設置して
こくばん ひがしにほんだいしんさい はっせい がつ
あった黒板。東日本大震災が発生した3月
にち ごぜんちゅう そつぎょうしき おこな こくばん
11日の午前中に卒業式が行われ、黒板には
よ が か
寄せ書きが書かれている。

②



2日目 (3月26日 土曜日) : いわき震災伝承みらい館 (福島県いわき市薄磯) ⑥

原子力事故のレベル

東京電力(株)福島第一原子力発電所では、3月11日の大地震と大津波により、1～4号機すべての電源が失われました。原子炉1号機では燃料棒の冷却水が蒸発して炉心が溶融。3月12日、1号機建屋で水素爆発が起こり、放射性物質が拡散しました。水素爆発は3号機・4号機でも起こり、世界の歴史に残る大事故となりました。

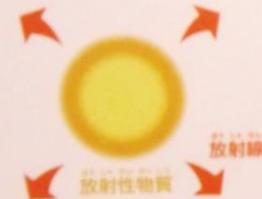
原子力事故の国際評価

事故レベル	過去に起きた原子力事故
7	深刻な事故 旧ソ連チェルノブイリ原発事故(1986年) 福島第一原発事故(2011年)
6	大事故
5	事業所外へリスクを伴う事故 米、リレーマイル事故(昭和54(1979)年)
4	事業所外への大きなリスクを伴わない事故 東海村JCO臨界事故(1999年)
3	重大な異常事象 東海再処理施設火災爆発事故(1997年)
2	異常事象 美浜2号機蒸気発生器伝熱管損傷事故(1991年)
1	過剰 もんじゅナトリウム漏えい事故(1995年) 美浜3号機圧入事故(2004年)
0	軽微以下

① 「レベル6」が「大事故」。そして今回の「レベル7」は…「深刻な事故」。過去には、旧ソ連のチェルノブイリ（ウクライナ語でチョルノービリ）原発事故だけ。

ベクレルとシーベルトの違いのたとえ

ベクレル(Bq)とは放射線を出す能力(放射能)の強さを示す単位のことです。



シーベルト(Sv)とは放射線が人体に与える影響の度合いを表す単位のことです。

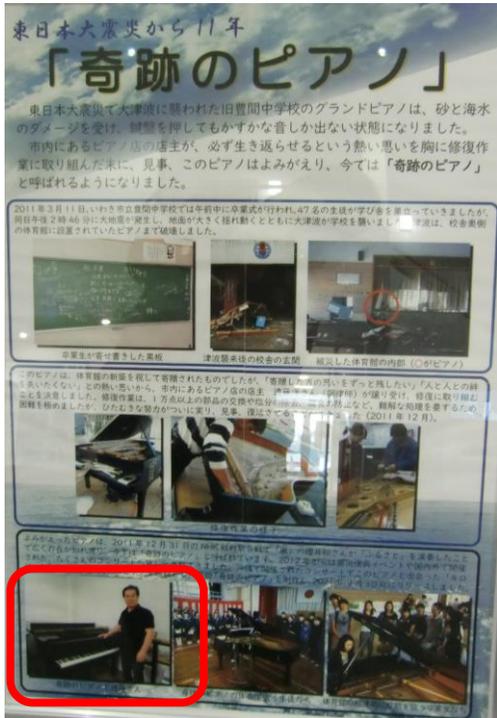


② Bq (ベクレル) と Sv (シーベルト) の違い

ベクレルとシーベルト

放射線に関して、ベクレルとシーベルトという言葉をよく耳にします。ベクレルは水や食べ物に含まれる放射性物質が放射線を出す量であり、シーベルトは人体への影響の大きさを表す量です。したがって、放射線が身体に与える影響はシーベルトで比較する必要があります。

2日目（3月26日 土曜日）： いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市薄磯）⑦



①



②



ピアノを演奏する
「嵐」の櫻井翔さん

(<https://ameblo.jp/aa1999/entry/12584329599.html>)

いわき市内にあるピアノ店の店主で、調律師の遠藤洋さん

…修理が終わったのは年末近く。直後のNHK紅白歌合戦で嵐の櫻井翔さんが弾き、存在が広く知れ渡った。

…震災復興イベントで、台湾やシンガポールにもその音色が響いた。著名アーティストのライブなど、これまで貸し出された回数は70回以上に上る。

…修理代は当然、持ち出しで、負担も軽くはない。…モニュメントにすれば修理態勢を取れなくなるため、今も自身のピアノ店に置き続ける。注：現在はこの施設で管理

「もう使命。何十年たっても息子たちがメンテナンスを引き継いでくれる」

(<https://www.sankei.com/article/20160311-YSKV62WG45JL3LYDIK545R6AW4/>)



2日目（3月26日 土曜日）： いわき震災伝承みらい館（福島県いわき市薄磯）⑧

きゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう
旧いわき市立豊間中学校 VR映像
つなみ の びがい を うけた 「旧いわき市立豊間中学校」の
かいたい ぜん の しょう を バーチャルリアリティ映像で巡ります。



「海水浴シーズンには、運動場が駐車場に使われていたくらい、校舎は海の近くにあった」

(いわき震災伝承みらい館
スタッフの方の言葉)

①



②



③



クリック①→②→③：**高台にあった校舎なのに、1階はほぼ水没。**津波の高さは8 m以上。

2日目（3月26日 土曜日）： JR常磐線富岡駅の周辺（福島県双葉郡富岡町）

2022年3月3日付 ニュース

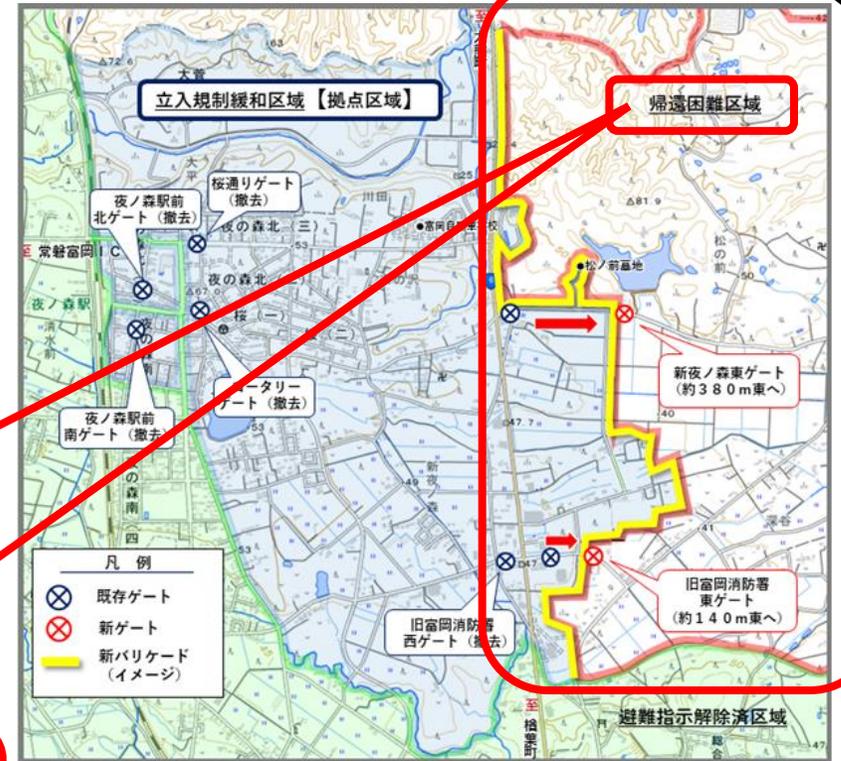
帰還困難区域、一部解除へ 春以降、復興拠点で居住再開 拡大する

東京電力福島第1原発事故から11年となる今春、福島県の避難指示区域の中で最も放射線量が高かった帰還困難区域の一部で避難解除が始まる。

来年（2023年）春にかけて6町村（富岡町や双葉町など）の特定復興再生拠点区域（復興拠点）は順次、住民が居住できるようになる。

復興拠点は原発事故前の街中心部や住宅密集地など。**拠点から外れた9割の地域については今年住民の帰還意向調査が始まる**ところで、避難はさらに数年続く。

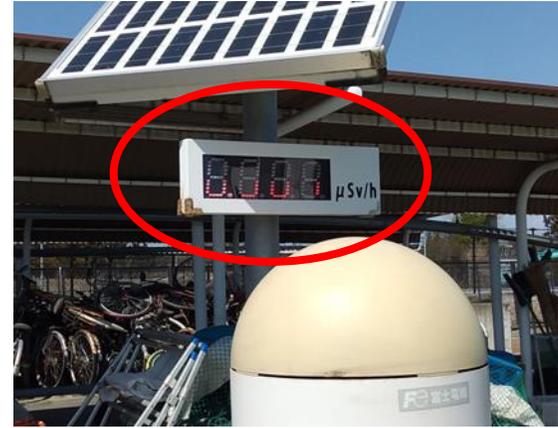
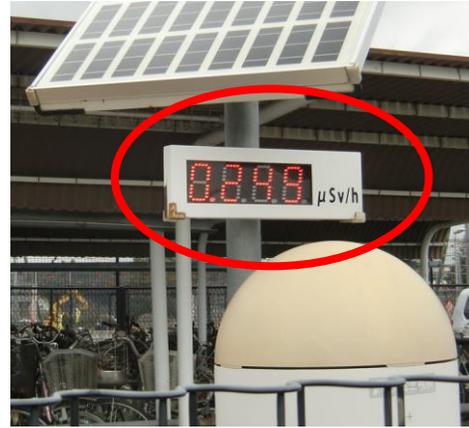
（共同通信社 <https://www.toonippo.co.jp/articles/-/904154>）



富岡町の立入規制緩和区域の範囲
（図の水色で示される範囲）

開始：令和4年1月26日午前9時
（順次バリケード開放を実施）

2日目（3月26日 土曜日）： JR常磐線双葉駅の周辺（福島県双葉郡双葉町）



② 駅の自転車置き場のモニタリングポスト

③ 2年前（2020年）に来た時のモニタリングポスト（0.987 μSv）



① 駅の近くで、放射線量を測定する線量計を貸し出していました。

日本国政府による一般の人の被曝線量の限度（除染目標）は、「年間1ミリシーベルト。これを地上1メートルの高さの空間線量に換算すれば、**毎時0.23マイクロシーベルト**」…ということは、**2年前の放射線量は国の基準の約4倍。この日の放射線量も国の基準を少し超えている。**

2日目（3月26日 土曜日）： MEET門脇（かどのわき）にて（宮城県石巻市）①

「あの時プロジェクト」

あの日起きたこと、あの日できなかったこと、未来への教訓を伝えるために、当時南浜・門脇地区にお住まいだった100名以上の方に聞き取りを行いました。

揺れを感じて津波が来ると確信し、すぐに高台に避難をした方や、家族の安否を確認するために内陸側から海側に戻ってしまった方、避難したあとに忘れ物を取りに自宅に戻ってしまう方もいました。

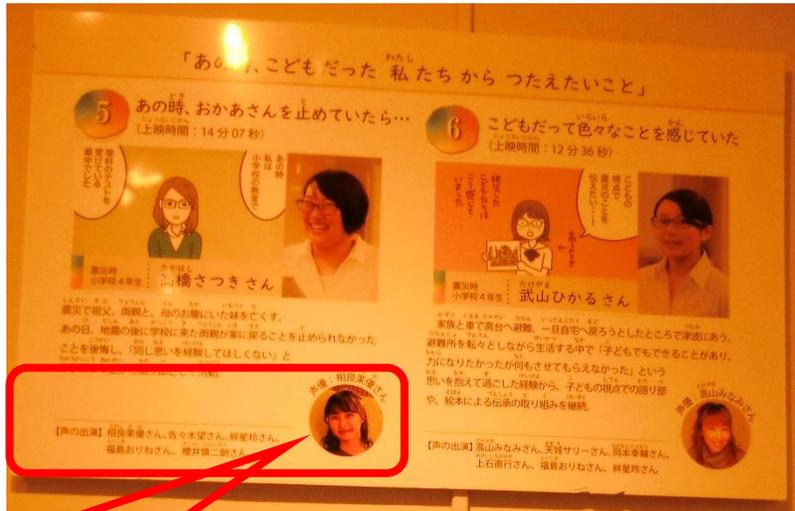
東北大学災害科学国際研究所の協力により、100名以上の震災当日の避難行動を可視化し、かつて存在した街並みに投影するプロジェクションマッピングで再現しました。



= 震災前の石巻市
南浜地区の写真

2日目（3月26日 土曜日）： MEET門脇（かどのわき）にて（宮城県石巻市）②

①



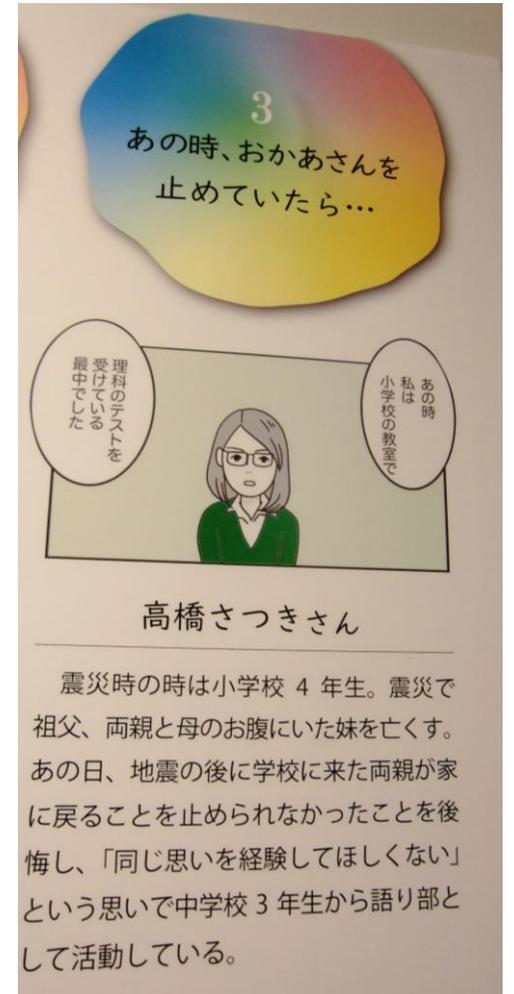
プロの声優さん



去年は「**マンガが伝える力**」に圧倒されました。**セリフが書かれていない吹き出し**→**セリフがフェードイン**。心にグサグサ刺さりました。
今年はプロの声優さんが台詞を担当する「アニメ」になっていて、さらに**臨場感が高まった**と思います。
去年特に印象的だった、右の高橋さつきさんの体験を、今回も紹介します。

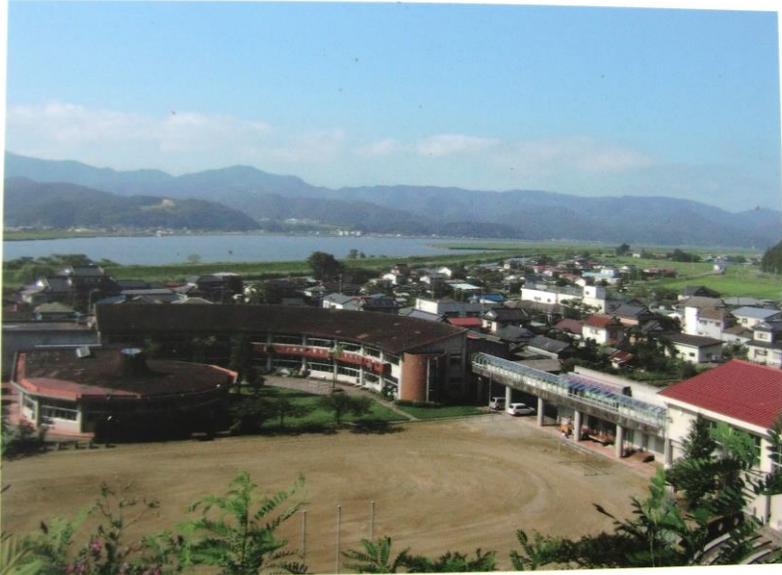
生前の面影が無い**母親の遺体が焼かれて、赤ちゃんの骨（骨盤にくっついていました）**が見つかって初めて、
「ああ、この人は私のお母さんだ！お母さん、妹と一緒に良かったね」

②

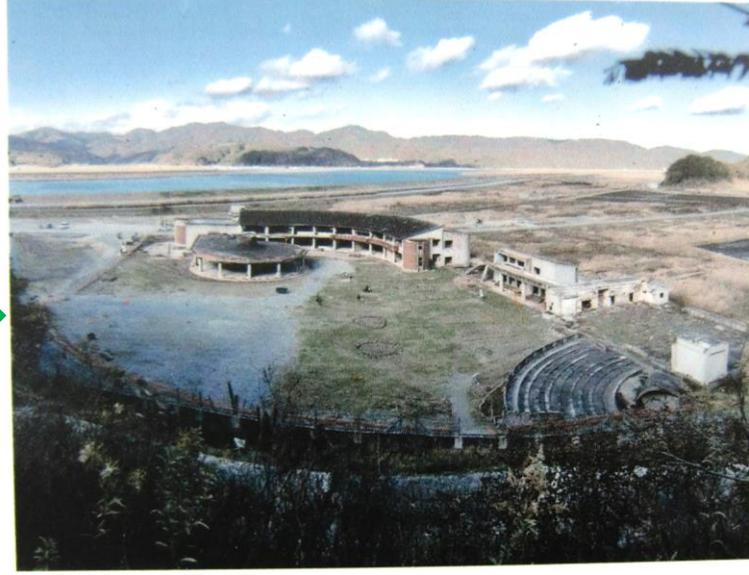
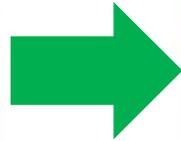


震災時の時は小学校4年生。震災で祖父、両親と母のお腹にいた妹を亡くす。あの日、地震の後に学校に来た両親が家に戻ることを止められなかったことを後悔し、「同じ思いを経験してほしくない」という思いで中学校3年生から語り部として活動している。

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）①



▲学校とまちなみ



▲校舎全景（震災後）

学校の周りがあった街が、完全に消失。

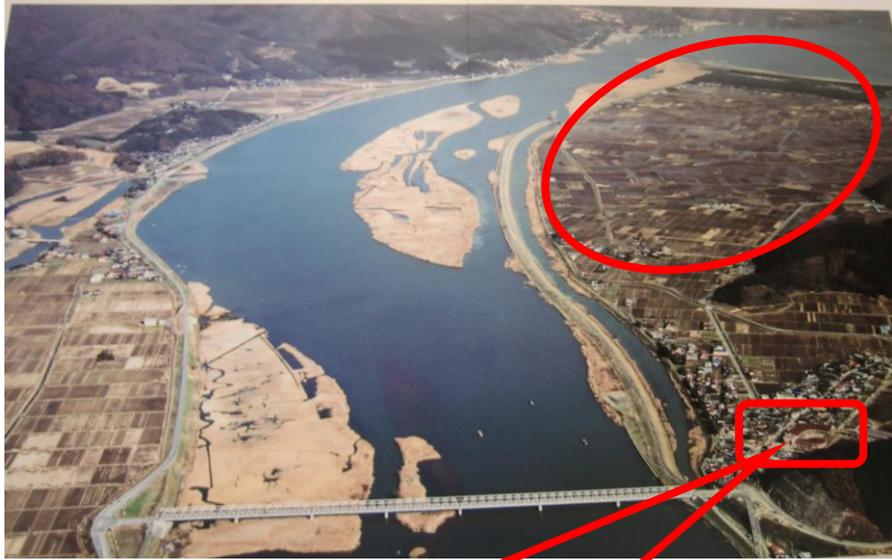
それは、たくさんの人々の、かけがえのない日々の暮らしそのものが消えて失われてしまったことでもある。

全校児童108名中、欠席と引き渡しなどで下校した児童を除き、学校管理下にあった78名のうち74名が津波の犠牲となりました。そのうちの4名は今も見つかっていません（2021年6月末現在）。その場にいた教職員も11名中10名が犠牲となりました。発災当日の夜、「大川小学校が孤立」とラジオで放送されるなど情報が錯綜し、学校管理下で前例のない大きな被害となった事実が分かったのは翌日の事でした。

「生き残ったのは2人の男子生徒。
流れてきた**冷蔵庫につかまって助かった1人の生徒が、半分土砂に埋まっていた他の1人の生徒を助けた**」

（語り部の鈴木典行さんが説明）

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）②



釜谷（かまや）地区にある大川小学校。手前に山があり、左手に北上川が流れている。川の向こうには追波（おっぱ）湾と太平洋が見える。



北上川にかかる新北上大橋の一部が、津波に破壊され消失している。海に面した長面（ながつら）地区は、海中に沈んでしまった。

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）③

①



校舎内の時計は、15時37分で止まっています。
津波が学校を襲った時刻を知る手がかりです。

②



児童の間で取り合いになるほど人気のあった一輪車は、低学年用と高学年用があり、朝、学校が始まる前やお昼休みになると、中庭で練習していました。低学年の子が練習していると、自然と高学年の子が後ろを支えてくれるなど、学年をまたいでの交流もありました。それは、学校生活のなかで、6年生が低学年の教室へ行って紙芝居を読んであげたり、一緒に給食を食べたりという様々な活動の中で育まれたものでした。

「東北地方太平洋沖地震」が起きた14時46分から、**51分後に津波が大川小学校に到達。**
同じ石巻市の**南浜地区では60分（1時間）後、**
福島県いわき市では41分後。

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）④



①



②



「ここで子ども達は津波と山に挟まれ、生き埋めになった。それを保護者のみんなで掘り返した。**その日の内に自分の子どもを見つけた親達は、次の日からもここに来て一緒に、掘り続けた。みんな同じ地域の子ども達・保護者達だった**」

「土砂の中から足が、手が、頭が…。**スコップは使えませんでした。みんな手で掘りました**」
(鈴木典行さん)

(語り部の鈴木典行さんが説明)

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）⑤

原告（遺族）側勝訴の歩み（ホップ→ステップ→ジャンプ）

第1審判決 2016.10.26 仙台地方裁判所

2014年3月10日、犠牲となった児童23人の遺族が宮城県と石巻市に対し、総額23億円の損害賠償を求める民事訴訟を仙台地方裁判所に起こした。

2016年10月26日、仙台地方裁判所は学校側の過失を認定し、23人の遺族に計約14億円の支払いを石巻市と宮城県に命じた。石巻市と宮城県は大川小学校は津波の浸水想定区域に入っておらず、津波の際の避難所として指定されていたことなどを理由に津波の襲来を予見できなかったと主張したが、仙台地方裁判所は少なくとも石巻市の広報車が大川小学校付近で津波の接近を告げ高台への避難を呼びかけた時点までに教員らは大規模な津波の襲来を予見できたはずであり、学校の裏山に避難しなかったのは過失だと結論づけた。

（ウィキペディアより）



控訴審判決 2018.4.26 仙台高等裁判所
Appeal decision April 26, 2018 Sendai High Court

予見可能性

平成16(2004)年の県の想定をふまえ、川の近くにある大川小で津波被害の危険性は十分予見可能だった。

組織的過失

危機管理マニュアルは地域の実情に応じたものとは言えず、市教委は適切な改訂を指導する義務があった。

結果回避

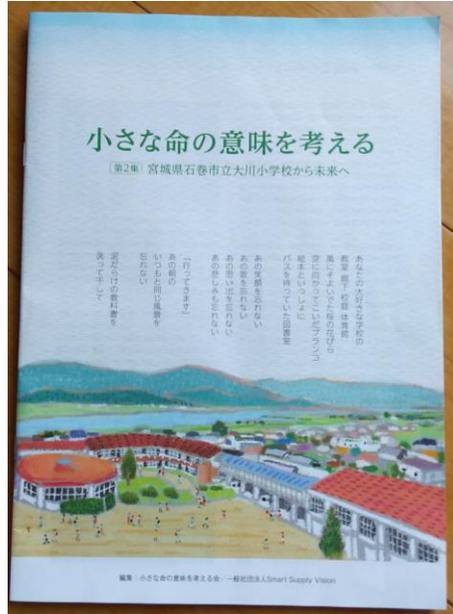
高台の避難場所が定められていれば、校庭に長時間待機させず、大津波警報をうけ避難を開始できた。



2019.10.10

最高裁が宮城県と石巻市の上告を棄却。
控訴審判決が確定

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）⑥



①

パンフレット「小さな命の meaning を考える 第2集 宮城県石巻市立大川小学校から未来へ」に掲載された1つの文章。

「全国からのメッセージ」のページで、山形から来館された人の文章。

「子どもたちを助けたいという気持ちが、山に避難するという判断にならなかったというのが問題（語り部さんから、「『子どもを助けたくない先生』なんていない」という話を聞いた感想として）」。

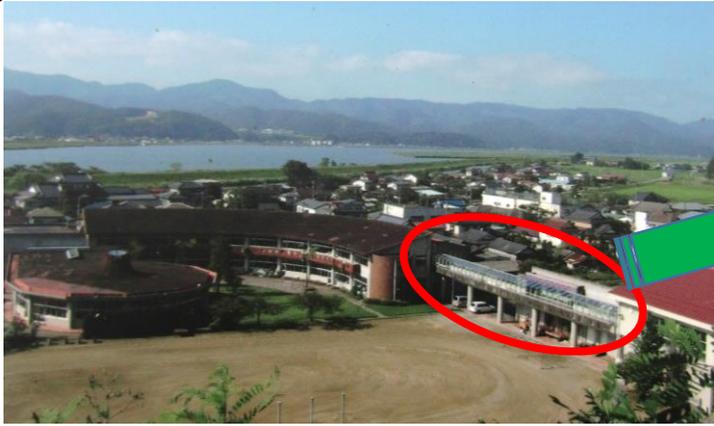


②



8. 6 mの津波がここまで押し寄せた。
この山は傾斜も緩く、毎年3月に子ども達
が、シイタケ栽培を行っていた場所。

3日目（3月27日 日曜日）： 石巻市立大川小学校（宮城県石巻市）⑦



② その残骸を後ろから見ていたら…。



① 2階の教室から体育館への渡り廊下が、津波で破壊されている。

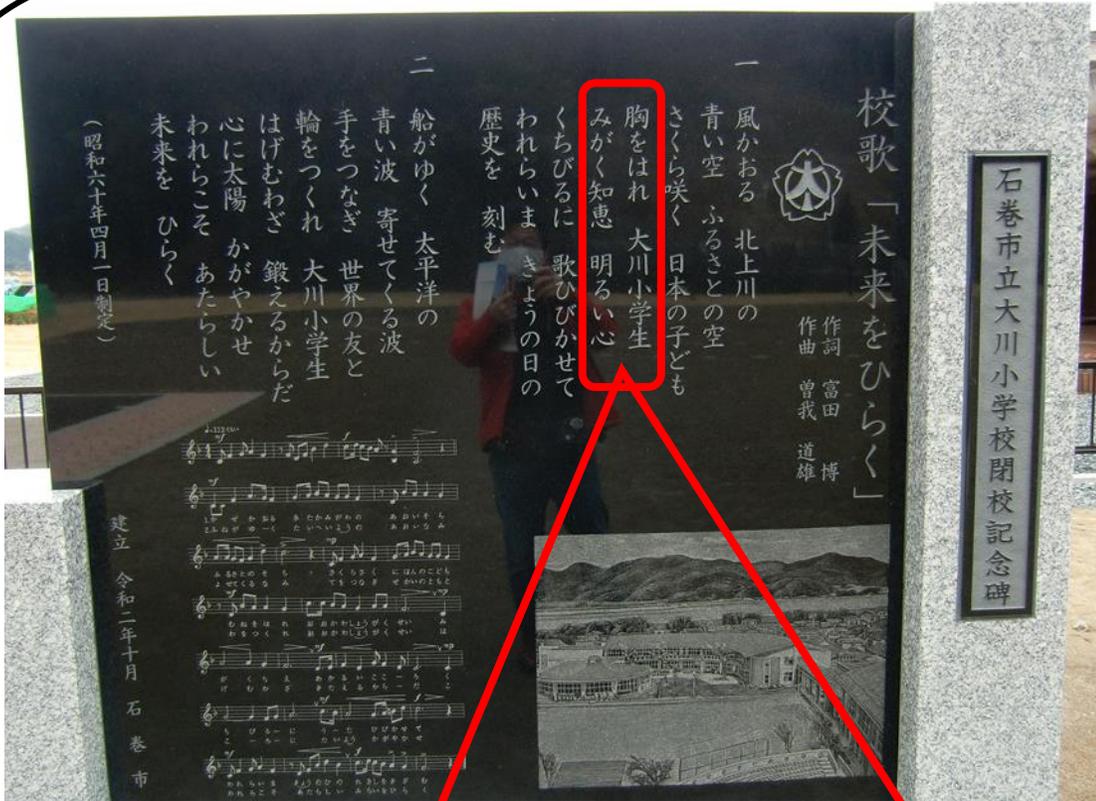
- ③ スズメが1羽、2羽と窓に止まった。
それを撮影した写真。
パンフレット「小さな命の意味を
考える」に、こんな文章があった。

**スズメの写真を撮ろうと思っても
すばしっこく動いて撮れない。
子どもと同じだ。**



最後に…。

①



津波で破壊された「銀河鉄道の夜」の壁絵。
その壁絵の1つに…校歌のタイトルが！

②



大川小学校の校歌にある「胸をはれ 大川小学生 **みがかく知恵 明るい心**」の歌詞。
寺井高校の校訓にある「**知性を磨き 目に光りあれ**」の「知性」と、この大川小校歌
の歌詞にある「**知性や知識をよいことに使う知恵**」について考えた。**9月末の2年生
修学旅行に向けて、生徒達に伝えたい。**その「伝え方」が、私にとっての大切な宿題。